

認知症予防活動コンソーシアム (大阪市天王寺区)



団体の活動内容

「ニヨ活」(ニ・認知症/ヨ・予防)とは認知症予防を目的として活動することで、認知症なんて関係ないと思っていた様々な世代にも、認知症へ興味を引き出し、理解を深め、自分のこととして考えるきっかけを作る。認知症になっても住みやすい街作りのため地域活動をの事。

認知症予防(リスク回避)につながる健康講座や、脳トレのトレーナーや、アロマハンドトリートメントのセラピストの育成をしています。ターゲットは団塊世代や主婦層。

この有資格者が、それぞれの地域でソーシャルビジネスとして簡単な収益を上げながら、自発的にニヨ活を広げていくことで地域コミュニティを広げられればと考えています。

<活動開始時期> 平成30年9月

<スタッフ> 43名

有給専任スタッフ 2名

有給パートタイムスタッフ 4名

ボランティアスタッフ 8名



主な取組について



企業様からの依頼で
認知症予防講座来場者30名強

生野区の地域様からの依頼
で、地域住民にアロマハンド
トリートメント150名強



月10回程度介護施設で認
知症予防のトレーニング
の提供



縁活 エンカツ



「できる」がてんこもり

大阪ええまちプロジェクトでの支援

■ 課題・悩み

まだまだ「二ヨ活」をする人員が足りていない。例えば月一回でも参加できるくらいでも良いので人員確保が必要。

講師として立ちたい人の確保や集客もしたい。

「二ヨ活」とだけ言うと意味がわからずイメージしてもらえない。

■ 解決に向けて

認知症の方とともに支え合う地域コミュニティづくりの考え方について、分かりやすく表現できるような図解を作成し、広報活動に活用する。



介護予防・認知症予防の気運を、地域で高める取組とは？



オレンジリングを持っている認知症サポーターは全国に**1万2千人以上**いるが取っただけで活動している例が少ない。



原因：認知症の活動というとボランティアのイメージが強い上、介護スキルがないと対応しづらいとされている。



介護スキルがいらぬソーシャルビジネスにする。

具体的な例

オレンジスポーツ
合唱団ニヨカンタービレ
ニヨ活キッズ
など

きちんと収益性をあげ、団塊世代でも、ビジネスパーソンでも、主婦でも、簡単に始められるソーシャルビジネスにしていくことを提案させていただいています。

